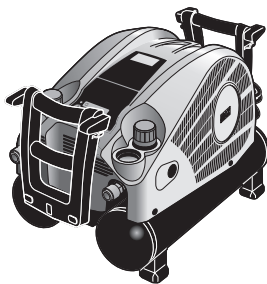


マックススーパーエア・コンプレッサ

AK-HL9700E

AK-LL9700E

取扱説明書



プロ用

警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 延長コードやドラムコードなどを使用する場合は、必ず「太さ 2.0 mm² 以上、長さ 30m 以内のもの」を全て引き出し、のばした状態で使用する。
- 本機の設置場所は硬く水平な所とする。不安定な場所では絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物（ガソリン、シンナー等）のある場所では絶対に作動させない。
- 感電事故防止の為、アース端子を必ず接地（アース）する。
- 雨の中、水のかかる場所では絶対に使用しない。水没や浸水した場合は必ず電源プラグをコンセントから抜き、絶対に使用しない。
- 高温や直射日光が当たる場所で絶対に使用しない。
- 電源は、必ず AC100V で電流容量 20A 以上のブレーカーを使用する。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- 本機にエアホスを接続する前に必ずエアホスとホース金具が完全に固定されていることを確認する。
- 移動時・作業終了時は必ず電源スイッチを切り、ドレンコックを徐々に開き、エアタンク内のドレンと圧縮空気を排出し、電源プラグをコンセントから抜く。
- 改造・塗装及び衝撃を絶対に加えない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

* 便利メモ

お名前		商品名	AK-HL9700E・AK-LL9700E
お買い上げ日	年 月 日	製造番号	
販売店名		☎ ()	-

このたびはマックスエアコンプレッサをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示について



この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。



この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、エアコンプレッサ本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

■絵表示について



この記号は「気を付けるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。



禁止

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。



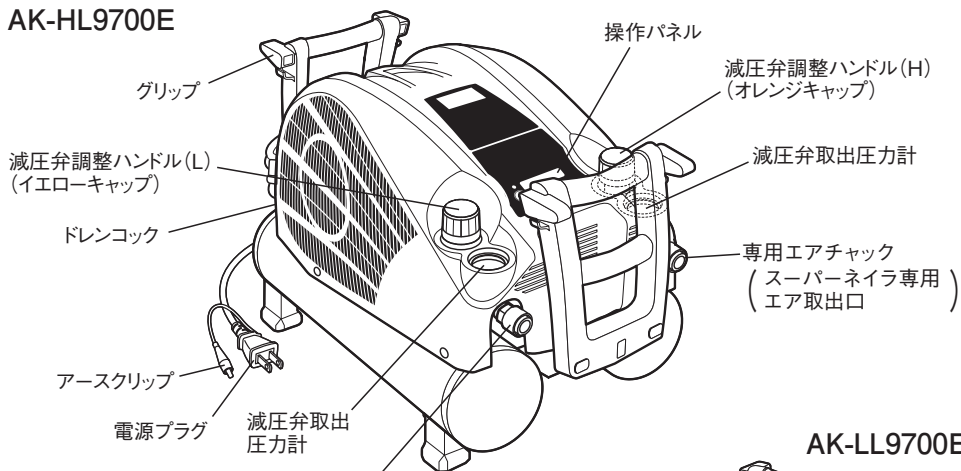
この記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

目 次

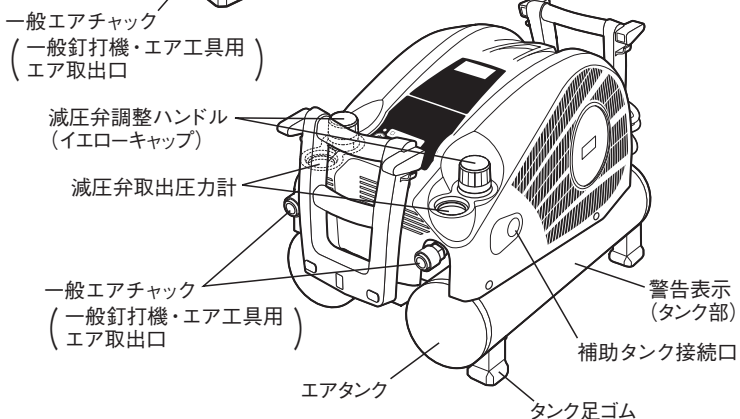
1. 各部の名称	1	9. その他の留意点	19
2. ⚠️ 安全作業のために	2	10. 補助タンクとエアコンプレッサの 接続例	20
3. ⚠️ 安全装置について	8	11. 性能を維持するために	21
4. 仕様	9	12. 保証、アフターサービスについて	23
5. 使用方法	10	13. 修理品預かり時の注意事項 (販売店の方へ)	23
6. 運転切換え機構について	16	全国販売拠点、サービス拠点一覧	
7. お知らせ・点検・異常LED表示と 保護装置について	17		
8. 運転中の異常	18		

1 各部の名称

AK-HL9700E



AK-LL9700E



操作パネル

点検LED
 異常LED
 お知らせLED
 電源LED
 電源スイッチ
 電源
 静音モード(LED点灯)
 静音ボタン
 (静音)モードLED
 (静音)モード切換スイッチ

LED表示	状態	対策
点検	点灯	メンテナンス時期です。
異常	点灯	異常が発生しました。
お知らせ	クイック点検(過圧)	ブザー音発生時: 極端な電圧状態になり、運転を停止しました。
	スロー点検(温度)	ブザー音発生時: 本体が異常に高い温度になり、運転を停止しました。
点灯	使用可能な状態に戻りました。	電源、延長コード状態を見直してください。 最速のよい場所などに設置場所を見直してください。 運転停止した場合は、冷ましてからご使用ください。

2 ▲安全作業のために

本機は、釘打機などのエア工具のエア源となるエアコンプレッサです。指定以外の用途、使用法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また本機に触らせないでください。

※文中の各部品設置箇所は 1 ページ「各部の名称」にて確認してください。

作業前

▲警告

①作業環境に応じた防具等を着用する。

作業環境に応じて、保護メガネ・防音保護具・保安帽・安全靴等の防具を着用してください。

②使用前に必ず点検する。

電源プラグを、コンセントに接続する前に次の点検を必ず行ってください。

1. ボルト・ナットやネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり傷んでいないか。
3. 電源プラグ・コードに異常がないか。

不完全なまま使うと事故や破損の原因となります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

③電源およびブレーカーは、必ず AC100V で電流容量 20A 以上のものを使用する。

必ず AC100V で電流容量 20A 以上のブレーカーを使用してください。指定電圧以外の使用や、電流容量 20A 未満の使用は故障の原因だけでなく、発火・発熱の危険性がありますので絶対に使用しないでください。

④延長コードやドラムコードなどを使用する場合は、必ず「太さ 2.0 mm² 以上、長さ 30m 以内のもの」を全て引き出し、のばした状態で使用する。

必ず「太さ 2.0 mm² 以上、長さ 30m 以内のもの」を全て引き出し、のばした状態で使用してください。太さ 2.0 mm² 未満のもの使用及びコードを巻いたままの使用は、故障の原因だけでなく、発火、発熱の危険性がありますので絶対に使用しないでください。

2 ▲安全作業のために

▲ 警告

⑤本機の電源に昇圧器などのトランス類は絶対に使用しない。

故障の原因や焼損の原因になりますので絶対に使用しないでください。(昇圧器を使用すると機械が作動しません)

⑥エンジン発電機や直流電源は以下のマッチング確認が取れている機種以外は絶対に使用しない。

故障の原因や焼損の原因になりますので絶対に使用しないでください。

〈マッチング確認済み機種〉

メーカー名	分類名	機種名	定格出力	定格電圧	定格電流
株式会社やまびこ (新ダイワ)	インバータ 発電機	IEG2800M	2.8KVA	単相 100V	28A
		IEG2801M	2.8KVA	単相 100V	28A

⑦本機の設置場所についての注意

1.硬く水平な場所に必ず設置する。

移動や落下の危険性のある不安定な場所には絶対に設置しないでください。

2.揮発性可燃物（ガソリン・シンナー等）のある場所には絶対に設置しない。

3.火気や燃えやすい物のそばで絶対に使用しない。

4.高温や直射日光が当たる場所は避け、風通しのよい日陰などに設置する。

高温や直射日光が当たる場所で使用すると本機の耐久性能が悪くなるばかりでなく、機械本体の温度が高くなって危険です。必ず風通しのよい日陰などで使用してください。

5.ゴミ（木クズなど）・ホコリの多い場所には設置しない。

6.雨の中や水のかかる場所・湿気の多い場所には絶対に設置しない。

水に濡れたまま使用すると、感電したり短絡（ショート）して焼損・発火による火災の恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

7.水没や浸水した場合は必ず電源プラグをコンセントから抜き、絶対に使用しない。

▲警告

⑧運搬に関する注意

1. 運搬時には必ず電源スイッチを切って（白LED消灯）（OFFにして）、電源プラグをコンセントから抜く。
2. 運搬前に必ずグリップ、エアタンクなどが変形や破損していないか、ボルト・ナットやネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていたりしないか点検・確認する。
※異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。
3. 運搬は丁寧に行う。
本機は従来機と異なり、モータがゴムで固定されています。衝撃には十分注意してください。

⑨濡れた手で絶対に触れない。

濡れた手で電源プラグ等を持つと感電する恐れがありますので、絶対に触れないでください。

⑩感電事故防止の為、アース端子を必ず接地（アース）する。

アース線をガス管等に取付けることは危険ですので、絶対に接続しないでください。

- ※アースの埋め込みやアース線を接続するような工事は電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談してください。また接地と共に漏電しゃ断器の設置された電源に接続してください。

⑪電源コードは大切に扱う。

電源コードを引っ張って本機を移動させたり、電源コードを引っ張ってコンセントから電源プラグを引き抜いたりすると、電源コード、プラグが変形、損傷し、断線・短絡（ショート）の原因になります。また、電源コードが刃物類や高熱のもの、油、グリースなどに触れないように注意してください。電源コード、プラグが損傷した場合、コンセントに差し込んだ電源プラグがグラグラする、プラグの刃に変色や曲がりがある場合は、修理に出してください。

⑫本機の通風孔や回転部（ファン部）などに異物を入れない。

感電や故障、事故の原因となります。

2 ▲安全作業のために

▲ 警告

⑬正しい服装で作業する。

回転部（ファン部）などに巻きこまれないよう、袖口の開いたものや手袋・ネクタイ・ネックレスなどは着用しないでください。

⑭本機にエアホースを接続する前に必ずエアホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。

⑮本機が正常に作動するか使用前に必ず点検・確認する。正常に作動しない場合は、使用しない。

10 ページの「運転前の点検・確認」に沿って点検してください。

※下記の場合は、故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

1. 運転開始後、5～6分以上待ってもモータが自動停止しない。

※上記時間は、パワーモード運転時、圧力0～3.0MPaで停止するまでの時間です。

静音モード運転時、補助タンク接続時、電圧降下時は運転時間が変わります。

2. 本機内部で異音・エア漏れ音がする。

3. 減圧弁調整ハンドルを操作しても圧力計の表示圧力が変化（上昇・下降）しない。
異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

⑯大切に扱う。

落としたり、ぶついたりすると故障の原因となります。落としたり、ぶついたりした場合は、外観上異常がなくても、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

⑰本機を長時間連続して運転する用途には使用しない。

釘打機などのエア工具のエア源以外の用途や、長時間連続運転となる用途に使用する場合は、あらかじめ必要性能などを取扱い販売店や弊社担当者に確認してください。

⑱エアセット等の重量物を、エアコンプレッサのエアチャックに直接取付けない。

取付けたエアセット等の重量物と本機の振動によって配管部の破損を招くおそれがあります。

作業中

▲警告

- ①通風孔をふさいだり、箱の中や狭い場所（車内など）や、本機シリーズの機械同士を同じ向きに並べたり、また雨天時シート等をかぶせて絶対に使用しない。
異常発熱を招き、故障・事故の原因となる事があります。
- ②上部に座ったり、物をのせることは絶対にしない。
本機の故障や破損を招くおそれがありますので、上部に座ったり、物をのせないでください。
- ③本機の通風孔や回転部（ファン部）などには絶対に異物や手を近づけない。
回転部にはさまれたり、巻き込まれたりしてケガをすることがありますので絶対にしないでください。
- ④運転時、運転直後のエアタンク、エアチャック、カバー取付ネジ等、金属部は絶対に素手でさわらない。
空気の圧縮熱で高温になる場合がありますので、火傷をする恐れがあります。移動などは、熱が下がってから行なってください。
- ⑤異常を感じたら絶対に使用しない。
機械の調子が悪い時、異常に気づいた時は直ちに電源スイッチを切って（OFFにして）、電源プラグをコンセントから抜き、使用をやめ、点検・修理に出してください。

2 ▲安全作業のために

作業後

▲ 警告

- ①作業終了時には必ず電源スイッチを切って（白LED消灯）（OFFにして）、電源プラグをコンセントから抜く。
- ②作業終了時には、エアタンク内のドレンとエアを排出し、電源プラグをコンセントから抜く。
- ③本機を分解・改造・塗装や衝撃を加えることは、絶対に行わない。
本機を分解・改造したり、衝撃を加えると本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。
- ④本機の保管場所に関する注意
 - 1.必ず水平な場所に縦置きせずに保管する。
 - 2.雨の中や水のかかる場所、湿気の多い場所に絶対に保管しない。



▲ 安全装置について

本機には安全を確保するため次のような安全装置がついています。

●保護装置（モータ焼損防止装置）

不適切な電源や配線方法で本機を使用した場合、本機を適切な周囲環境で使用していない場合、モータ内に異常電流が流れた場合や圧縮機本体に異常がある場合に、モータの運転を停止させ、モータ焼損を防止する装置です。

(17 ページ参照)

●エアタンク部用リリーフバルブ

本機は圧力スイッチにより、エアタンク内圧が約 3.0MPa (約 30kgf/cm²) に達すると自動的にモータの運転を停止します。万一圧力スイッチの故障によってエアタンク内圧が異常高圧になった場合、リリーフバルブより音を発し、エアタンク内圧を減圧します。その場合は、ただちに本機の使用を中止し、決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

※本機のリリーフバルブは、本体（カバー内）に設けられています。

リリーフバルブの設定圧力の調整はできません。

●減圧弁部用リリーフバルブ

本機の減圧弁（L、H）は、それぞれ圧力調整範囲内で設定されています。

万一減圧弁の故障によって 2 次配管内（減圧弁とエアチャック間）が異常高圧になった場合、リリーフバルブより音を発し、2 次配管内圧力を減圧します。その場合は、ただちに本機の使用を中止し、決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

4 仕様

項目	商品仕様	
商品名	マックス スーパーエア・コンプレッサ	
商品記号	AK-HL9700E	AK-LL9700E
寸法	高さ 350 × 幅 350 × 長さ 590 mm	
質量	15kg	
圧力制御範囲	ON圧 約2.5MPa OFF圧 約3.0MPa	
モータ	DCブラシレスモータ	
使用電源	AC100V (50/60Hz共用)	
負荷電流	11.5A	
回転速度	最大2450min ⁻¹	
実吐出量 ※ (FAD:フリーエアデリバリ)	パワーモード運転時:85ℓ/min(0.49MPa時)、75ℓ/min(1.96MPa時) 静音モード運転時:60ℓ/min(0.49MPa時)、55ℓ/min(1.96MPa時)	
理論吐出量 (AD:エアディスプレイメント)	173ℓ/min(0.49MPa時)	
	173ℓ/min(1.96MPa時)	
気筒径 (mm) × 行程 (mm) × 気筒数	1段側 60×25×1 2段側 40×10×1	
エアタンク容量	10ℓ	
減圧弁の圧力調整範囲	減圧弁(H) 0.1~2.45MPa (約1~25kgf/cm ²)	—
	減圧弁(L) 0.1~0.83MPa (約1~8.5kgf/cm ²)	減圧弁(L) 0.1~0.83MPa (約1~8.5kgf/cm ²)
リリーフバルブの設定圧力	約3.3MPa(約33.7kgf/cm ²) (エアタンク部)	
空気取出口	スーパーネイラ専用エアチャック ワンタッチ式(1個) 一般釘打機・エア工具用エアチャック ワンタッチ式(1個)	一般釘打機・エア工具用エアチャック ワンタッチ式(2個)

※実吐出量(FAD:フリーエアデリバリ)は容積形圧縮機の試験規格:ISO1217(JIS B 8341)による測定値です。

※電源状態によって異なります。

5 使用方法

運転前の点検・確認

⚠ 警告

- 使用前にボルト・ナットやネジの緩み、各部部品の欠損がないか点検する。
- 電源は、必ず AC100V で電流容量 20A 以上のブレーカーを使用する。
- 延長コードやドラムコードなどを使用する場合は、必ず「太さ 2.0 mm² 以上、長さ 30m 以内のもの」を全て引き出し、のびた状態で使用する。
- 適正な設置方向で必ず使用する。
- コンセントに差し込んだ電源プラグがグラグラするときは使用をやめる。

※ 2 ページからの「安全作業のために」の通り正しく使用してください。

※ 文中の圧力数値については、圧力計の読み取り誤差を含んでいません。

① 電源プラグをコンセントに差し込みます。

〈AK-HL9700E : 2 芯プラグ〉 〈図 -1〉

電源はアースクリップを接地（アース）してから電源プラグをコンセントに差し込みます。

〈AK-LL9700E : 3 芯ポッキングプラグ〉

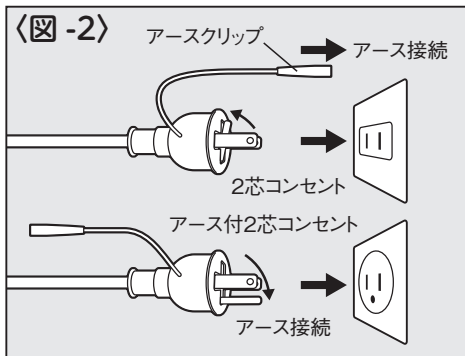
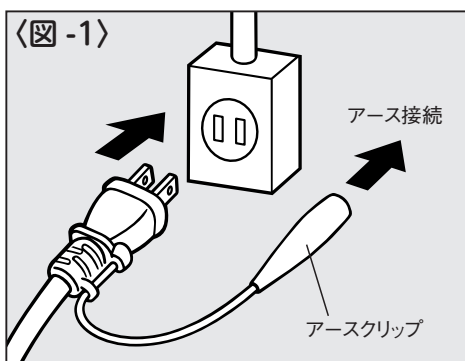
・ 2 芯コンセントに差し込む場合 〈図 -2〉

アースクリップを接地（アース）してからアースピンを倒し電源プラグをコンセントに差し込みます。

・ アース付 2 芯コンセントに差し込む場合
アースピンが立っている状態で電源プラグをコンセントに差し込みます。

② 運転モードをパワーモードにしてください。

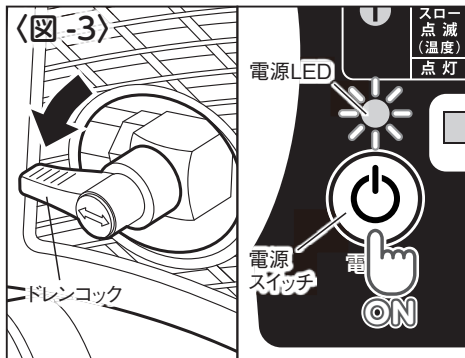
※ 延長コードやドラムコードなどを使用する場合は有効断面積が 2.0 mm² 以上、長さ 30m 以内の電線としてください。



⚠ 注意

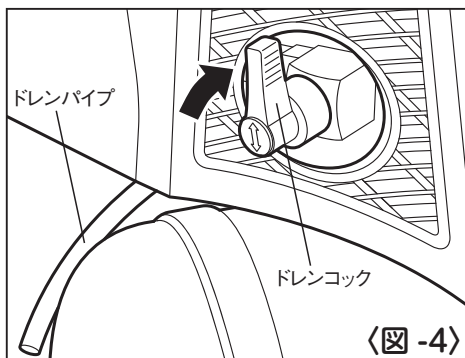
●本機は、電源スイッチがON状態でブレーカーが落ちたり、電源プラグを抜いた場合でも電源はON保持されます。電源プラグを差し込んだり、ブレーカーを復帰させただけで運転が再開します。

- ③ドレンコックを全開にして、電源スイッチを入れます（ON にします）。同時にブザー（ブザー音“ピ”）が鳴り、モーターが起動します。（電源 LED 白点灯）



〈図-3〉

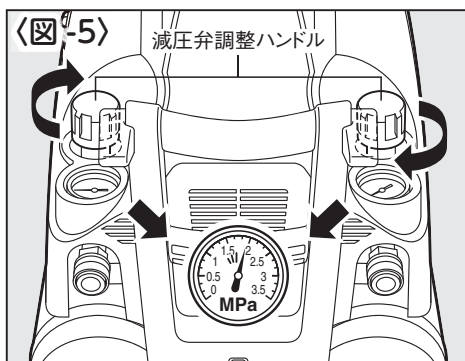
- ④モーターが回転し、ドレンパイプの先端から空気が出ていることを確認してください。



〈図-4〉

- ⑤ドレンコックを閉じて、ドレンパイプの先端からエアもれが無いことを確認してください。

- ⑥減圧弁調整ハンドル（2ヶ所）を、止まるまで右回転させ圧力計の指針が動く（上昇する）ことを2ヶ所とも確認してください。

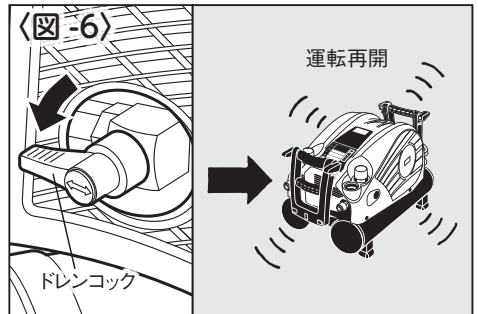


⚠ 注意

●減圧弁の圧力特性によりエアタンク内の圧力が上昇していくと、設定した取出圧力より最大0.2MPa（2kgf/cm²）程度変化する事があります。
一旦減圧弁調整ハンドルを左に回して減圧してから減圧弁調整ハンドルを右に回し、圧力を上げながら調整を行ってください。

- ⑦ 5～6分程度で自動的に圧縮運転が停止することを確認してください。(静音モード運転時、補助タンク接続時、電圧低下時は運転時間が変わる関係でこの場合は除きます。)
- ⑧ 運転停止後、5分程度待って、異音・エアもれや再起動運転しないことを確認してください。

- ⑨ ドレンコックを少し開き圧縮空気を排出します。圧力が降下すると、運転が再開することを確認してください。〈図-6〉

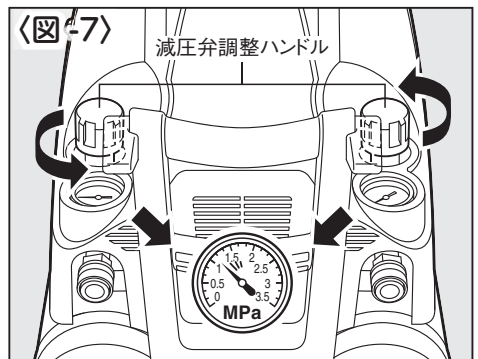


⚠ 警告

- ドレンコックを開くときは、周囲に飛散物がないことを確認し、徐々に開く。また、顔をドレンパイプ先端に近づけない。

ドレンコックを一気に全開にするとドレンや圧縮空気により失明や耳を痛める恐れがあります。

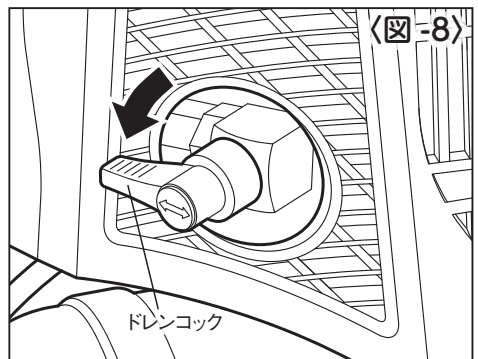
- ⑩ ドレンコックを閉じて圧縮運転中に電源を切り (OFF にして) 運転が停止することを確認してください。



- ⑪ 減圧弁調整ハンドル (2ヶ所) を、左回転させ圧力計の指針が下がることを2ヶ所とも確認してください。(エアもれ音が発生することがありますが故障ではありません。)

〈図-7〉

- ⑫ ドレンコックを徐々に開き、エアタンク内の圧縮空気とドレンを全て排出してください。ドレンコックを徐々に開き、タンク内圧が低くなったら全開まで解放してください。



〈図-8〉

⚠ 注意

- ドレン排出中に凍りつき、ドレンを排出しなくなる場合があります。その場合はドレンコックを操作せずそのまま溶けるのを待ってください。無理に閉めると氷がドレンコック内部を傷付ける場合があります。

運転前の点検・確認で異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

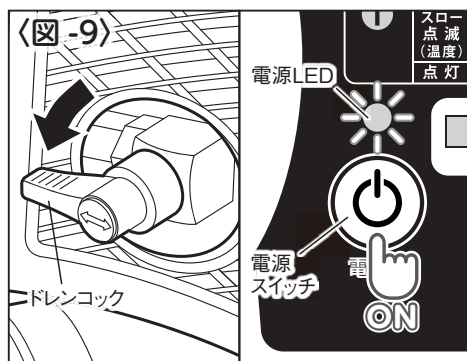
使用手順

使用する場合は必ず 10 ページ「運転前の点検・確認」を行なってください。

- ①ドレンコックを全開にして、電源スイッチを入れます (ON にします)。同時にブザー (ブザー音 “ピ”) が鳴り、操作パネルの電源 LED (白) が点灯します。

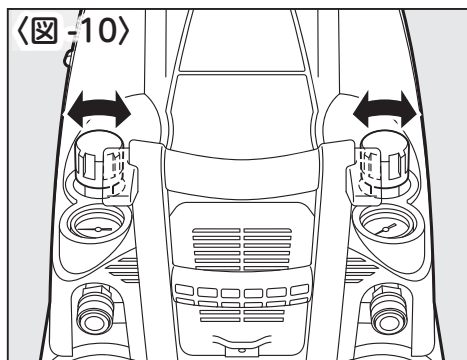
〈図-9〉

運転が開始したらドレンコックを完全に閉じて圧力を上昇させてください。



- ②圧力が上昇して運転が停止しましたら、減圧弁調整ハンドルを回して釘打機・エア工具の適正な使用圧力に調整を行います。圧力の調整方法は、減圧弁調整ハンドルを左に回し、適正な圧力より 0.2MPa (2kgf/cm²) 以下に一旦減圧を行ないます。次に減圧弁調整ハンドルを右に回し、圧力を上げながら調整を行なってください。

〈図-10〉



⚠ 注意

- 圧力設定は必ず運転が停止してから行ってください。運転停止前に設定を行うと減圧弁の特性により取り出し圧力が設定圧力より下がります。
また、運転停止後に設定した圧力で打ち続けた場合、取り出し圧力が上がる傾向にありますので、工具のアジャスタや本機の設定圧力により調整を行ってください。

※ 圧力を調整する際は、必ず適正圧力より低い圧力から圧力を上げて調整してください。適正な圧力より高い圧力から減圧を行ない調整すると、圧力ゲージと実際の使用圧力に誤差が生じます。(減圧弁の特性)

※ ラジオへの影響について

ラジオの近くで使用すると、ラジオに雑音が入ることがあります。その場合は離してご使用ください。(同じ場所で使用していても、天気、交通量、使用機器等、周囲環境によってラジオの電波状態は変化することがあります。またラジオによっては電波感度を自動調整するものもあり雑音の状態は一定ではありません)

※ 本機には減圧弁が 2 ヶあり、スーパーネイラと一般釘打機・エア工具を接続することが可能です。(AK-LL9700E は、一般釘打機のための接続になります)

〈減圧弁 H〉スーパーネイラ (使用圧力 2.45MPa 以下) を接続し、使用できます。

〈減圧弁 L〉一般釘打機・エア工具 (使用圧力 0.83MPa 以下) を接続し、使用できます。

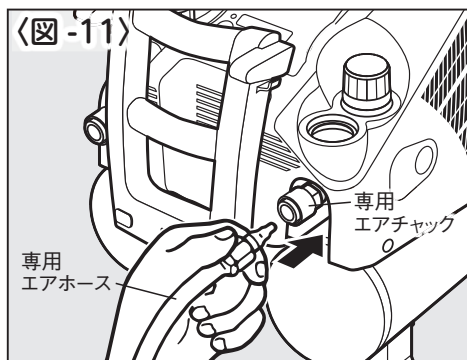
⚠ 警告

- 釘打機・エア工具の使用空気圧を必ず守る。
減圧弁によって供給圧力を調整しないで釘打機・エア工具を使用すると、性能が著しく低下したり、寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

※ 不適正な圧力 (必要以上に高い圧力) で釘打機・エア工具を使用するとエア消費量が増加し、釘打機・エア工具の連続作業性能が著しく低下することがあります。必ず適正圧力に調整して使用してください。

③供給圧力の調整が終わりましたら、エア取出口（エアチャック）にエアホースを接続して作業を開始できます。〈図-11〉

④減圧弁H側の専用エアチャックにはスーパーネイラ専用エアホースを接続してください。〈図-11〉
減圧弁L側のエアチャックには一般釘打機用エアホースを接続してください。



※ AK-LL9700E はどちらの減圧弁も一般釘打機用です。

※エアチャックは、ワンタッチ式になっておりますので接続の際は、エアプラグを押し付けるだけで接続ができます。

⚠ 警告

- 本機にエアホースを接続する前に必ずエアホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。

6 運転切換え機構について

本機は、パワーモードと静音モードの運転切換ができます。

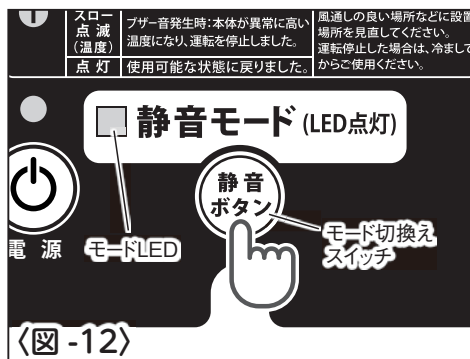
- パワーモード：エアを多く使用するとき向け
- 静音モード：運転音を気にする早朝・夜間・休日やリフォーム作業など向け

状況に応じて切替えて使用してください。出荷時は、パワーモードに設定されています。

モード切換えスイッチを押す毎に
パワーモード ⇄ 静音モード

に切り換わります。 <図-12>

- ・ 運転中、停止中いつでも切換えが可能です。
- ・ 運転切換え時は、ブザー音（ピ）が鳴り、モード LED で設定状態を表示します。
パワーモード時：LED 消灯
静音モード時：LED 点灯
- ・ 運転中にブレーカーが落ちたり、電源プラグを抜いた場合でも運転状態は前回運転中の状態が記憶されます。



⚠ 注意




- 本機は、電源スイッチが ON 状態でブレーカーが落ちたり、電源プラグを抜いた場合でも電源は ON 保持されています。電源プラグを差し込んだり、ブレーカーを復帰させただけで運転が再開します。

7

お知らせ・点検・異常LED表示と保護装置について

本機は、マイコンにより常に電圧やモータ運転状態を検知しながら最適な運転制御、運転時間計測を行っています。さらに本機内部の異常な温度、電圧状態時には、お知らせLEDが点滅し、モータ焼損防止用の保護装置が作動し運転停止した時にはブザーでお知らせします。又、機械異常を検知した場合は、異常LEDが点灯し、ブザーによりお知らせします。

●お知らせ・点検・異常LED表示について

	LED表示	ブザー	モータ動作	状態	対策	
使用環境見直し	 お知らせ	クイック点滅	—	運転	電圧が低いか、高い状態です。	電源、延長コード状態を見直すことをお勧めします。
			ピー、ピー	停止	極端な電圧状態です。	
		スロー点滅	—	運転	本体の温度が高くなっています。	風通しの良い場所などに設置場所を見直すことをお勧めします。停止した場合は、冷ましてからご使用ください。
			ピー、ピー	停止	本体の温度が異常に高い状態です。	
点灯	ピ、ピ	運転可能	使用可能な状態に戻りました。			
サービスマニュアル(株)に相談	 点検	点灯	—	運転	本機の運転時間が1,000～1,200時間に達しました。点検時期です。	本機の性能を維持し、突発的な不具合を未然に防ぐためにも早い時期の点検をお勧めします。
	 異常	点灯	ピー、ピー	停止	異常が発生しました。	点検・修理をお申し付けください。

※ブザー音（ピー、ピー）は、次の操作で停止します。

- ・電源スイッチを押したとき
- ・一定時間（約5分）経過したとき
- ・正常な状態に戻ったとき（温度が下がったとき、電圧が正常範囲に戻ったとき）
- ・電源プラグを抜いたとき

〈温度上昇又は電圧異常（お知らせLED点滅）による運転停止時の再運転について〉

- ・使用環境改善により電圧が正常状態に戻ったり、本機の温度が下がり再使用可能となるとお知らせLEDの点灯とブザー（ピ、ピ）によりお知らせします。この状態になったら電源スイッチを2回押すことで、再起動し使用できるようになります。

※温度上昇又は電圧異常による運転停止でお知らせLEDが点滅（クイック・スロー）している場合は、環境改善を行ってください。

※本機の温度が高くなり運転停止した場合は、本機を十分冷ましてからご使用ください。

⚠ 警告**●異常を感じたら絶対に使用しない。**

次のような異常を感じた時は、直ちに電源スイッチを切って（OFFにして）電源プラグをコンセントから抜き、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

①電源、配線に問題が無いのに、（17 ページ「保護装置について」の項参照）**●電源スイッチを入れても作動しない。****●モータがうなる。**

等の現象が出る。

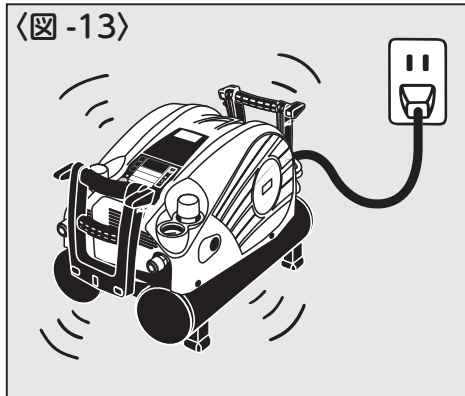
②運転中に異常な音がする。**③圧力スイッチが作動せず安全弁が作動し、圧縮空気が吹き出す。****④空気が漏れている。****⑤圧力が上昇しない。****⑥金属部に触れるとビリビリする。****⑦上記以外でも使用中に異常を感じる。****⑧運転異常 LED が点灯している。（17 ページ参照）**

9 その他の留意点

①本機を寒冷地で使用する場合

凍結による作動不良を防止するため

- ①本機をあらかじめ暖めてから運転してください。
- ②電源プラグを直接、元電源に接続し暖気運転（ドレンコックを開放したまましばらく運転させる）の後、使用してください。延長コードやドラムコードなどを使用する場合は、必ず「太さ 2.0 mm² 以上、長さ 30m 以内のもの」を全て引き出し、のばして使用してください。



〈図 -13〉

- ③冬場など外気温度が低い環境下で静音モード運転を開始すると空気が圧縮されない場合があります。このようなときは起動時に一定時間パワーモード運転（暖気運転）を行った後に静音モードに切り替わります。

②停電時の自動復帰について

⚠ 警告

- 作業終了時には必ず電源スイッチを切って（白 LED 消灯）（OFF にして）、電源プラグをコンセントから抜く。
電源プラグをコンセントから抜いて運転停止させると、再度、電源プラグをコンセントに差し込んだだけで運転が開始し、思わぬ事故や怪我の原因になります。本機は、突然ブレーカーが落ちたり、不意に電源プラグが抜けた場合、再度通電されると同時にコンプレッサの電源が ON 状態に自動復帰します。

10

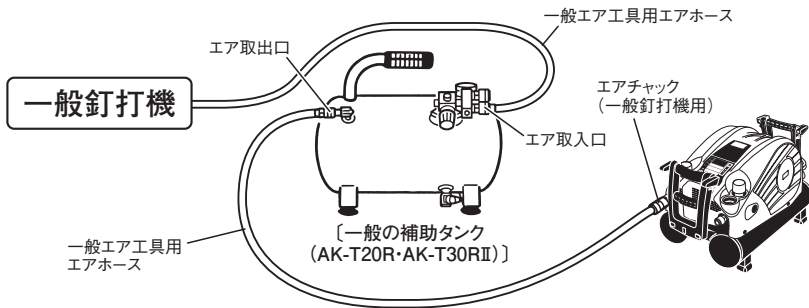
補助タンクとエアコンプレッサの接続例

⚠ 警告

- 専用補助タンク使用時は、必ず専用補助タンクの取扱説明書を読む。
- 補助タンクに使用するエアホース・接続方法は、下記の表を参照して必ず取扱説明書通りの接続を行う。

補助タンクとエアコンプレッサの接続使用例

本機の一般エアチャックを使用する場合

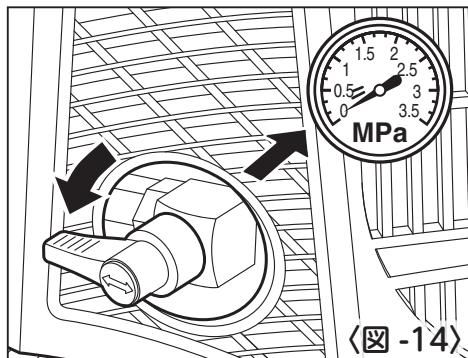


11 性能を維持するために

①本機のドレン抜き（水抜き）をする。

作業終了時は、減圧弁ハンドルを右に回した状態でドレンコックを徐々に開き、タンク内圧が低くなったら全開まで解放してください。エアタンク内の圧縮空気とドレン（水）を減圧弁の圧力計の針が0を指すまで全部抜いてください。

〈図-14〉



〈図-14〉

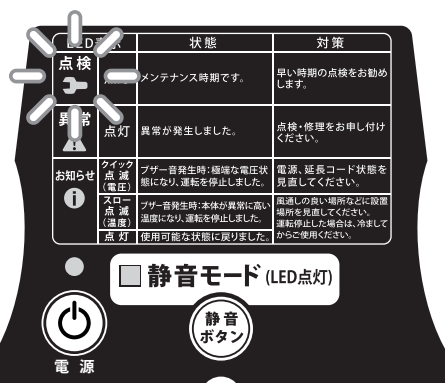
⚠ 注意

- ドレン排出中に凍りつき、ドレンを排出しなくなる場合があります。その場合はドレンコックを操作せずそのまま溶けるのを待ってください。無理に閉めると氷がドレンコックの内部を傷付ける場合があります。

※ドレン抜き（水抜き）を行わないとエアタンク内に錆が発生し、故障の原因となります。

②点検 LED が点灯したら点検する。

本機はマイコンにより運転時間を計測しています。本機の運転時間が1000～1200時間に達すると点検LEDが点灯します。点検LEDが点灯したら本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。



③定期的に点検する。

本機の性能を維持する為に清掃、点検を定期的に行なってください。点検は本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

※エアコンプレッサの清掃には別売りのエアダスタが便利です。エアダスタは、お近くのマックス製品取り扱い店でお買い求めください。

④本機を大切に手入れする。

より安全に性能を発揮させるため、損傷のない最良の状態に保ってください。グリップ部は乾燥させ、清潔にし、油やグリースが付かないようにしてください。



⑤本機を大切に扱う。

落としたり、ぶつかけたり、叩いたりしますと変形・亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落としたり、ぶつかけたり、叩いたりしないでください。

〈図 -15〉



〈図 -15〉

⑥使用毎に必ず点検する。

2 ページからの「安全作業のために」の内容に沿って点検・確認を行なってください。

12 保証、アフターサービスについて

【保証について】

- 本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。
「お客様登録カード」にて登録手続きしていただいたお客様に限り、保証期間が2年間となります。

【アフターサービスについて】

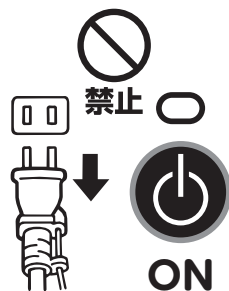
- 異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

13 修理品預かり時の注意事項（販売店の方へ）

⚠ 警告

- 電源プラグをコンセントから抜いた直後に電源スイッチを入れない。

機械内部のコンデンサに充電されているため、電源プラグをコンセントから抜いた直後、電源スイッチを入れると動きだす可能性があります。また、これによりケガをしたり感電する危険性もあります。



— MEMO —

A series of horizontal dashed lines for writing.



本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町 6-6 TEL(03)3669-8121

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541
新潟支店	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL(03)3669-8118
群馬営業所	〒370-0031	高崎市上大類町 4 1 2	TEL(027)353-7075
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀 8 1 5 5	TEL(0263)26-4377
関東営業所	〒300-0811	土浦市上高津 9 1 5 - 1	TEL(029)835-7322
千葉営業所	〒284-0001	四街道市大日 1 8 7 0 - 1	TEL(043)422-7400
名古屋支店	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052)918-8619
静岡営業所	〒420-0067	静岡市葵区幸町 2 9 - 1	TEL(054)205-3535
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1 - 3 - 18	TEL(06)6444-2035
京都支店	〒612-8414	京都市伏見区竹田段川原町 195	TEL(075)645-5061
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町 6 - 2 - 4	TEL(078)367-1580
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音 7 - 1 1 - 24	TEL(082)291-6331
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1 - 5 - 1	TEL(092)411-5416
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町 3 - 24	TEL(099)269-5347

販売関係会社

埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町 3 - 4 2 1	TEL(048)651-5341
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘 7 - 6	TEL(045)364-5661
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町 5 - 1 7 - 1 9	TEL(042)528-3051
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸 2 - 1 5	TEL(076)240-1873
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市北区野田 3 - 2 3 - 2 8	TEL(086)246-9516
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町 7 6 1 - 3	TEL(087)866-5599

マックスエンジニアリング&サービスファクトリー

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町 4 1 2	TEL(027)350-7820
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町 3 - 4 2 1	TEL(048)667-6448
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778
名古屋サービスステーション	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052)918-8624
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1 - 3 - 18	TEL(06)6446-0815
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音 7 - 1 1 - 24	TEL(082)291-5670
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1 - 5 - 1	TEL(092)451-6430

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料)0120-228-358

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

